

8/6 岡崎幸田災害医療対策本部設置・運用訓練・8/28 愛知県・岡崎市総合防災訓練 課題と対応

訓練内容	課題	対応
参集訓練	<p>○マンパワーの確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日、夜間の発災に備えて、岡崎幸田災害医療対策本部（以下「医療対策本部」）を迅速に立ち上げられるよう、西尾保健所は岡崎市在住職員を、岡崎市及び幸田町は担当職員を動員する体制を構築しているが、参集できる職員に限りがある。 ・責任者（保健所長等）が参集できない場合に備えて、医療対策本部を参集できた職員だけで設置、運営できるようにする必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西尾保健所においては、岡崎市在住職員だけでなく近隣市町在住職員の動員を検討する。 ・参集可能な職員だけでも医療対策本部を設置・運営できるよう、実地訓練等を通じて人材養成を図る。
本部設置訓練 (会場設営訓練)	<p>○医療対策本部及びDMAT活動拠点本部の設置場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[8/6 訓練]医療対策本部とDMAT活動拠点本部（以下「DMAT本部」）を別々の会議室に設置した。 医療対策本部の衛星携帯電話（ドコモ）については、電波が繋がるDMAT本部のある会議室内に設置した。 ・医療対策本部とDMAT本部との連絡調整や県災害医療調整本部との通信のため、会議室間を頻繁に往来することとなり、不便であったので設置場所を検討する必要があります。 ・幸田町専用無線が医療対策本部内で繋がらず、情報収集業務に支障があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策本部、DMAT本部、市民病院災害対策本部の設置場所について、通信、本部間の連携等を考慮して検討する。

訓練内容	現状と課題	対応
本部設置訓練 (通信機器関係)	<p>○通信インフラについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NTT回線不通の場合に備えて、以下3つ代替通信手段がある。 ① 衛星携帯電話(ドコモ) ※岡崎市保健所内で保管(H28.4～) 通話のみ。ネット(EMIS 災害医療情報システム) 接続不可 ② 衛星携帯電話(インマルサット) ※DMAT本部が利用 通話のみ。ネット(EMIS 災害医療情報システム) 接続不可 ③ 携帯WiFi ルータ ※県から救急用に配備 <p>[8/6 訓練]では、ネット接続でき、問題なくEMIS(災害医療情報システム)が利用できたが、[8/28 訓練]では、輻輳により、ネット接続できなかった。信頼性に欠ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在所持する機器では、通話しかできない FAX、ネット接続(EMIS利用環境)の確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の通信手段については、市民病院での医療対策本部、DMAT本部、市民病院災害対策本部の設置場所を考慮しながら検討する。
	<p>○通信訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛星携帯電話(インマルサット・ドコモ)は、設置方法、操作方法が特殊なため、操作に慣れる必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・[8/6 訓練]西三河地域全域での情報収集が必要であったが、連絡先一覧表が広域対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星携帯電話(インマルサット・ドコモ)を利用した通信訓練等を実施し、医療対策本部員一人一人が通信機器の使用方法に習熟する。 ・通信機器の利用マニュアルを分かりやすく改善する。 ・関係機関の連絡先一覧表について、広域対応(西三河全域の医療機関、関係機関を網羅)する。

訓練内容	現状と課題	対応
病院・救護所の稼働状況把握訓練	<p>○EMIS（災害医療情報システム）への情報入力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の EMIS 導入病院は、後方支援病院、透析病院等に限られ、これらを対象に EMIS 入力訓練を実施している。 災害時の情報収集体制を充実するためにも、EMIS 導入病院の拡大が必要である。 ・EMIS 未入力病院・医療救護所については、岡崎市、幸田町職員が情報収集（電話確認、現地確認等）を行い、必要に応じて医療対策本部員等が代行入力する体制を整えている。 そのため、業務に従事する者が EMIS 利用方法に習熟しておく必要がある。 ・[8/6 訓練・8/28 訓練] 救護所の EMIS 代行入力訓練を実施したが、入力項目（男女別、年齢別、症例別等）が細かすぎるため、収集情報を絞る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の EMIS 未導入の病院（4病院）に対し、導入を勧奨した結果、全病院から利用申請（10月末）があった。 これにより、圏域内の全ての病院（15病院）に EMIS が導入された。 ・EMIS の利用方法を習熟してもらうため、病院関係者、医療対策本部員等を対象に入力訓練を実施する。 ・救護所等の EMIS 入力項目について、関係者と検討する。

訓練内容	現状と課題	対応
その他	<p>○医療対策本部の広域対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[8/6 訓練] DMAT 活動拠点本部は、西三河全域で活動するため、医療対策本部に対して、他医療圏(主に西三河南部西圏域)の情報を求められたが、馴染みのない病院ばかりで戸惑った。 ・問合せ先の衣浦東部保健所(西三河南部西圏域災害医療対策本部)も、他圏域とどのように連携したらよいか分からず、戸惑っていた。 ・現行の地域医療救護活動計画 (H28.2 策定) は、医療圏毎に完結しており、広域連携を想定していないので、他圏域との連携、役割分担の整理ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携に備えて、他圏域との連携や役割分担について、関係者と検討する。
	<p>○災害医療対策本部と DMAT(活動拠点)本部との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[8/6 訓練] DMAT (活動拠点) 本部は、西三河全域、医療対策本部は、西三河南部東圏域 (岡崎・幸田地域) と、情報収集の範囲は異なるが、同じ情報を収集、整理しており、業務内容が重複していた。 ・情報収集業務において、DMAT 本部と医療対策本部の連携・協力体制について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集業務における DMAT 本部と医療対策本部との連携について、関係者と検討する。

